



西 部 方 面 隊



防衛態勢の充実・強化

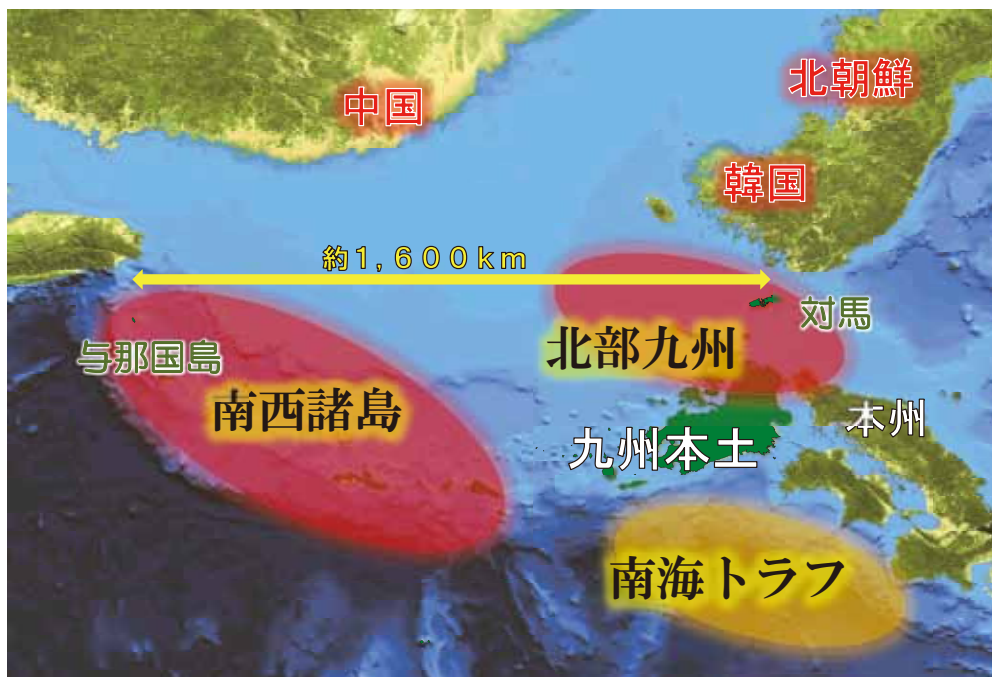
「30大綱」に基づく陸上防衛構想

「多次元統合防衛力」を実現する陸上防衛力を構築して、部隊配備や常時継続的な機動等により抑止力を強化、事態生起時には、領域横断的な戦力を発揮して、侵攻を阻止・排除します。



2つの戦略正面と大規模震災等への対応

西部方面隊は、朝鮮半島及び尖閣諸島を含む南西域の2つの戦略正面と、南海トラフ巨大地震に代表される大規模災害といった、いわゆる「2＋1」への対応に備えています。



【西部方面隊の地理的特性】

- 広範な地域
南北約1,200km
東西約940km
直線距離約1,600km
(本州とほぼ同じ長さ)
- 多くの島しょ数
約5,200の島しょ数
(全国の約4割)
- 周辺諸国に最も近い
対馬⇄韓国約50km
与那国島⇄台湾約110km

西部方面隊の防衛態勢

西部方面隊は、第4師団・第8師団・第15旅団などの部隊をもって、九州・沖縄8個県の防衛・警備を担当しています。

平素からの常時継続的な機動により抑止力・対処力を強化

第4師団 (地域配備師団)

第4師団は、平成31年3月、「地域配備師団」へと改編し、第8師団が担当区域外に機動展開した後の広大な作戦地域において、迅速かつ適切に対処する部隊として生まれ変わりました。



第4偵察戦闘大隊による訓練の様子

第8師団 (機動師団)

第8師団は、平成30年3月、「機動師団」へと改編し、事態が生じた際には、担任区域を越えて緊急展開する部隊として生まれ変わりました。



第42即応機動連隊による訓練の様子



第15旅団

令和2年3月、第15情報隊を新編



第15情報隊隊旗授与(令和2年3月)



今後配備予定のV-22オスプレイ



与那国駐屯地

与那国



石垣市

宮古島



宮古島駐屯地



奄美駐屯地

南西地域の島しょ部の部隊の態勢を強化

これまでに、沖縄県与那国島・宮古島及び鹿児島県奄美大島に駐屯地を開設するとともに、警備部隊、対空部隊、対艦部隊等を配置し、実効的な抑止力及び対処力を強化しました。今後、沖縄県石垣島にも駐屯地を開設し、さらなる南西防衛態勢の充実を図ってまいります。



警備部隊



O3式中距離地对空誘導弾



12式地对艦誘導弾

鎮西・南西の防人として

武力攻撃事態等対応のための訓練

西部方面隊は、地域のご理解を得て、九州本土から南西諸島までの広範な地域において日々訓練を行っています。



10式戦車による警戒監視
(日出生台演習場)



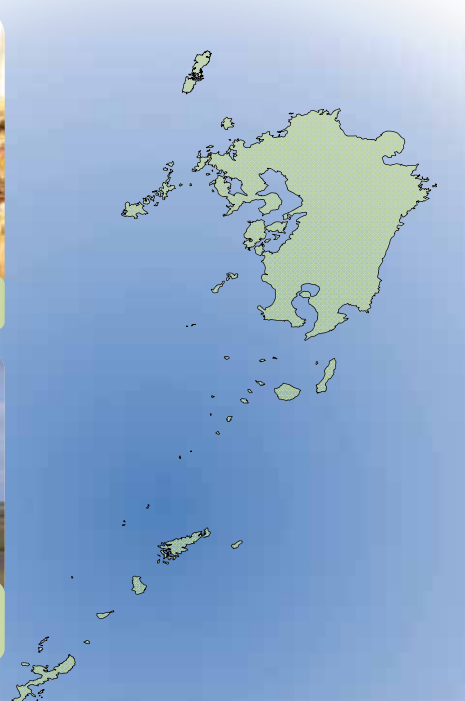
AH-1Sによる対着上陸作戦
(日出生台演習場)



12式地対艦誘導弾による対艦戦闘
(日出生台演習場)



FH-70による対着上陸作戦
(日出生台演習場)



兵站訓練 (輸送ヘリコプターからの
物量投下) (日出生台演習場)



O3式中距離地対空誘導弾
射撃用レーダ装置による対空警戒
(福江島)



衛生訓練 (大量傷病者の受け入れ)
(自衛隊熊本病院)



94式水際地雷敷設装置による
水際障害構成訓練 (種子島熊野海岸)



民間船舶を活用した海上機動
(西之表港)



警備訓練
(喜界島)



汀線部における障害構成訓練
(種子島前之浜海岸)



O3式中距離地対空誘導弾による対空戦闘
(奄美大島)

日米同盟の強化及び多国間安全保障協力の推進

西部方面隊は、日米共同訓練や多国間共同訓練等に参加し、米軍をはじめとする各国軍との連携強化及び戦術技量の向上を図っています。

～日米共同方面隊指揮所演習～

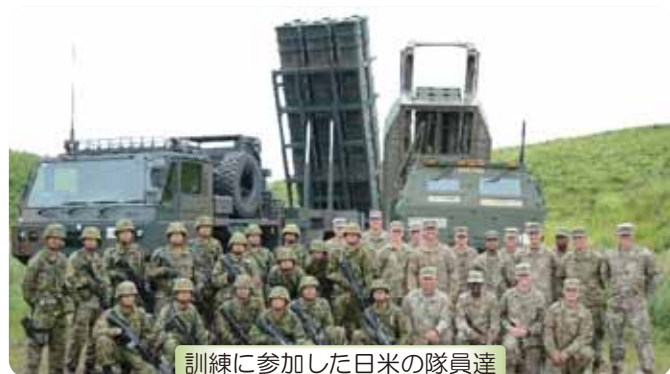


共同作戦会議で指導する方面總監（YS-77）
（左は、米陸軍初の女性歩兵師団長のイエーガー少将）



共同作戦会議に臨む日米両隊員達

～国内における米陸軍との実動訓練～



訓練に参加した日米の隊員達



日米担当者間での調整状況

～国内における米海兵隊との実動訓練～



訓練に参加した日米両指揮官



米軍オスプレイを使用した機動展開

国際社会の平和と安定への貢献に関する取組み

西部方面隊は、国際平和協力活動への対応を行い、国際社会の平和と安定に寄与しています。

～ジブチにおける海賊対処行動
（11次隊：平成31年1月～令和元年7月）～



警備のための射撃訓練

～国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト
（アフリカ）（令和元年5月～8月）～



ウガンダ軍に対する建設機械の操作教育

九州・沖縄 8 個県民とともに

西部方面隊では、自治体等からの要請に基づく災害派遣活動や緊急患者空輸のほか、未だ数多く発見される不発弾処理などの活動を行っています。

各種災害派遣活動

西部方面隊は、九州・沖縄各地で発生する災害に対し、自治体と連携して先行的に情報を収集するとともに、要請に基づき部隊を速やかに派遣して、人命救助、生活支援等の活動を行っています。



令和2年7月豪雨に伴う人命救助活動（令和2年7月）

㊦：孤立地域から救助した生後3カ月の赤ちゃん ㊧：ボートによる救助 ㊨：UH-60によるホイスト救助



新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動（令和2年4月～）

㊩：長崎港に停泊していた外国船籍に対する医療支援
㊪：自治体職員・宿泊施設従業員等に対する感染防護のための教育支援

沖縄県におけるCSF（豚コレラ）に係る活動（令和2年1月）

不発弾処理・緊急患者空輸

西部方面隊は、不発弾処理を年間約700件行うとともに、南西地域等の救急患者を対象とした医療機関等への緊急患者空輸を年間約200件行っています。



処分壕内における処理作業の様子



連絡偵察機LR-2による緊急患者空輸



輸送ヘリコプターCH-47による緊急患者空輸

自治体等と連携した防災訓練等

西部方面隊は、平素から自治体が主催する防災訓練等に積極的に参加するとともに、自治体との連携強化のための各種取り組みを行っています。



長崎県総合防災訓練



鹿児島県原子力防災訓練



沖縄県総合防災訓練

～国民保護訓練～

西部方面隊では、平素から自治体が主催する国民保護訓練に積極的に参加するとともに、自治体及び関係機関と連携して、国民保護に係る啓発等に努めています。



大分県国民保護訓練



西部方面隊国民保護訓練（健軍駐屯地）

～警察との共同訓練～

西部方面隊は、平素から各県警察との共同訓練を行って、有事における共同対処の実効性の向上に努めています。



福岡県警との共同訓練



佐賀県警との共同訓練



熊本県警との共同訓練



宮崎県警との共同訓練

人的基盤の強化

各種課程教育による人材育成

西部方面隊では、新入隊員（自衛官候補生等）に対する教育を行うとともに、自衛官として任官後も、陸曹の昇任段階毎に、職務遂行上必要な教育を行い、長期的視野での人材育成に努めています。

～新隊員教育～



入隊式



体力練成



射撃訓練



行進訓練



学科試験



戦闘訓練



教育修了



～陸曹中級課程教育～



班の指揮・運用

～陸曹上級課程教育～



小隊の指揮・運用

人材確保のための取組

西部方面隊は、各地方協力本部が主体となり、学校等における説明会や、各種イベント等における広報ブースなど、様々な募集活動を行っています。



学校等における説明会



自衛隊フェスタin熊本

若年退職自衛官の再就職のための取組

西部方面隊は、隊員が後顧の憂いなく任務に集中できるよう、任期満了又は定年退官に伴う退職後の再就職の援助に係る施策を行っています。



退職後の再就職の援助（合同企業説明会）



退職自衛官雇用企業主等に対する説明会

広報活動による理解の促進と協力諸団体との連携

西部方面隊は、九州・沖縄の各県において音楽演奏等の広報活動を行うとともに、隊員が後顧の憂いなく任務を遂行するため、協力諸団体との連携強化に努めています。



商店街での広報演奏（西部方面音楽隊）



沖縄県家族会及び隊友会との連携強化

自衛官に興味のある方、退職自衛官の雇用に関するご質問等は、お近くの自衛隊地方協力本部へお問い合わせください。

地方協力本部名	住 所	電話番号
福岡 地方協力本部	〒812-0878 福岡市博多区竹丘町1-12	092-584-1881
佐賀 地方協力本部	〒840-0047 佐賀市与賀町2-18	0952-24-2291
長崎 地方協力本部	〒850-0862 長崎市出島町2-25	095-826-8844
大分 地方協力本部	〒870-0016 大分市新川町2-1-36、大分合同庁舎5 F	097-536-6271
熊本 地方協力本部	〒860-0047 熊本市西区春日2-10-1、合同庁舎B棟3 F	096-297-2053
宮崎 地方協力本部	〒880-0901 宮崎市東大淀2-1-39	0985-53-2643
鹿児島 地方協力本部	〒890-8541 鹿児島市東郡元町4-1、第2合同庁舎1 F	099-253-8920
沖縄 地方協力本部	〒900-0016 那覇市前島3-24-3-1	098-866-5457

西部方面隊は、九州・沖縄8個県民約1,450万人の生命と財産を守る「鎮西・南西の防人」としての自覚と誇りを堅持し、日夜、プロ意識と技能を磨き、「明朗闊達、風通し良く、かつ厳しい任務も淡々と遂行しうる凄みある方面隊」を目指し、地域の皆様とともに、新しい時代「令和」を切りひらいてまいります。

隊員からのメッセージ

～新入隊員から～



～現職隊員から～



西部方面隊の沿革

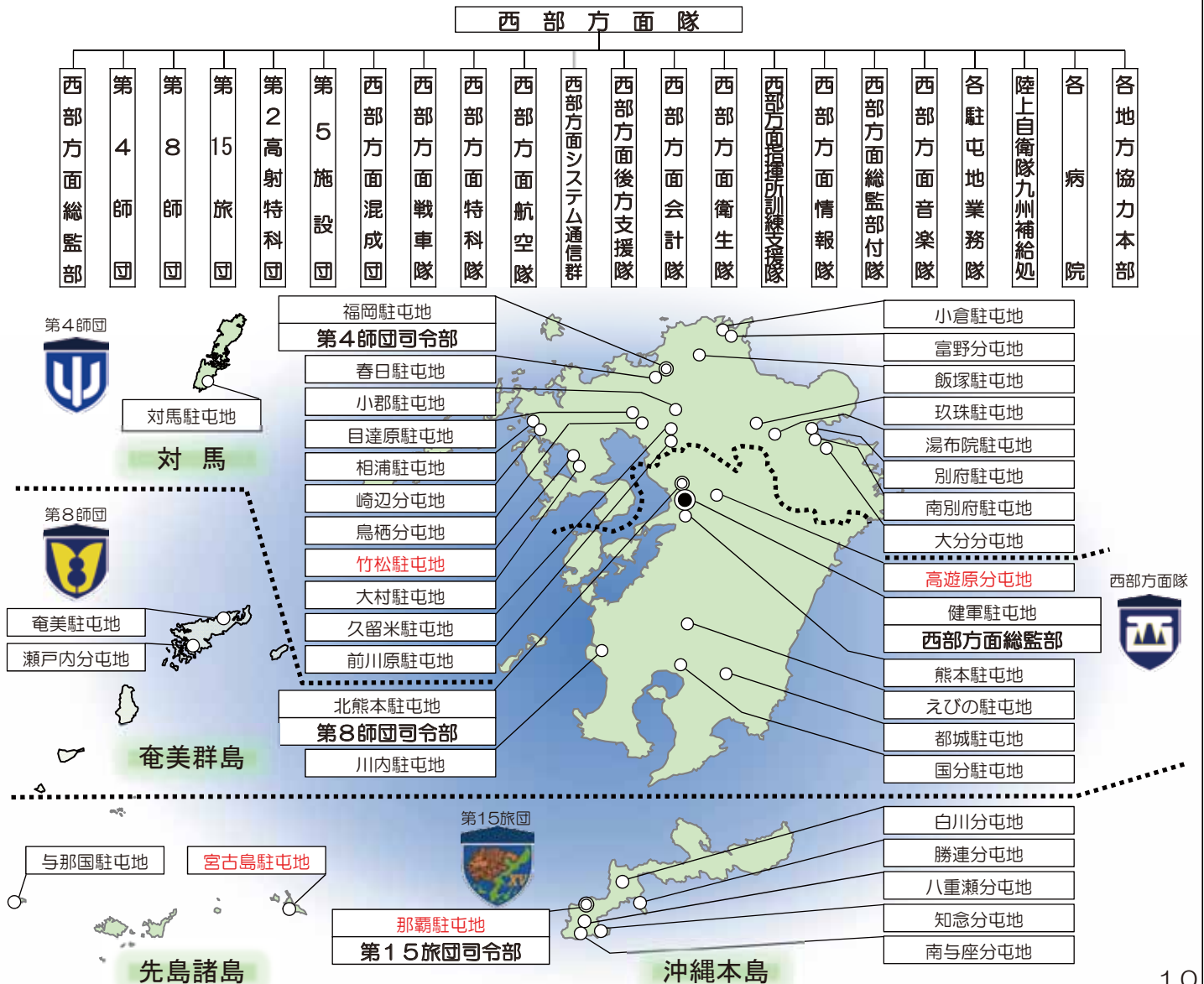
年	S31	48	H3	7	8	15	17	19	22	23	24	28	29	30	31	R1	R2
西部方面隊の主要な活動等	西部方面隊創隊	初の災害派遣（漁船の空中捜索）	沖縄における不発弾処理開始	第1混成団新編	雲仙・普賢岳噴火に伴う災害派遣	阪神・淡路大震災に伴う災害派遣	初の国際緊急援助活動となる	東ティモールPKO活動（4次隊）	東ティモールPKO活動（2次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）	東ティモールPKO活動（1次隊）

西部方面隊の編成



西部方面隊の主要部隊

凡例 ●：方面總監部所在地 ◎：師団・旅団司令部所在地 ○：各部隊所在地
赤字：令和元年度末の主要な新・改編、移駐の部隊等





【鹿児島県西之表市熊野海岸】

【鹿児島県肝属郡南大隅町】

鎮西・南西の防人

西部方面隊に関する情報は、ホームページ、各SNSにも掲載しています。



(西部方面隊ホームページ)



(フェイスブック)



(ツイッター)



(ユーチューブ)

陸上自衛隊に関する情報や募集情報は、下記QRコードからご覧ください。



(陸上自衛隊ホームページ)



(自衛官募集)



(ツイッター)



(ユーチューブ)